

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題  
事後評価報告書

研究開発課題名	Fine Droplet Drying テクノロジーによる経気道治療用ナノマイクロ粒子包埋医薬品の創出を目指した研究
代表機関名	国立大学法人信州大学
研究開発代表者名	佐藤 隆
全研究開発期間	平成 29 年度～令和元年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000065847.pdf>

2. 総合評価

・ 優れている。

【評価コメント】

本課題は、圧電素子を用いた微粒子作成技術である FDD テクノロジーを経気道治療用医薬品の製剤設計に応用し、既存薬剤の経気道投与を可能にしようとする新規性のある取り組みである。さらに、動物モデルでの薬効確認も実施し、実用性が期待できるとともに汎用性の高い新たな基盤技術の創出につながる可能性を示したことは評価できる。

今回は、一薬剤での可能性を示したが、得られた知見をもとに、他の薬剤での応用性、品質評価方法、安全性評価方法なども検討を深めるとともに、実用化に向けて企業と連携して検証を続けて頂きたい。

以上